

## 首都圏・関西圏における交流拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度 経過年数 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略 ]				関連する県の計画等		[ ]							
[事業目的]  福井への企業誘致、観光誘客、UIターンや販路拡大につなげるため、首都圏・関西圏における企業・マスコミ等や県内出身学生とのネットワーク強化を図ります。														
[事業内容]  (1) コミュニティ型ワークスペースを拠点とした新たな人的ネットワーク構築 (2) 福井県勤務経験者や福井県出身学生等と協力した福井県の魅力発信														
[受益者] -						[想定される受益者数] -								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		コミュニティ型ワークスペースで開催するサテライトオフィス説明会や販路拡大等の県主催イベントに各市町にも参加を呼びかけ、協働して福井をPRする。						
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								

## 首都圏・関西圏における交流拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営									経過年数			
補助率	-									0 年			
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	4,198					4,198							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分			30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移					4,198								
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	企業立地を検討する企業等との個別面会・商談、市町への紹介件数		(目標)		(90)	(90)	(90)	東京事務所60件、大阪事務所30件					
活動指標	福井県勤務経験者や県出身学生とのネットワーク構築		(目標)		(200)	(200)	(200)	東京事務所100人、大阪事務所100人					
他県の状況							関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				

## 関西の学生グループによる福井応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度			
事業実施方法	直営											年			
補助率	—														
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野	[ 楽しみを広げる(創造力) ]			関連する県の計画等		[ ]								
[事業目的]															
関西在住の県出身大学生のネットワーク化を図るとともに、学生による福井県の情報発信等の活動を支援し、将来的なUターンにつなげる。															
[事業内容]															
県出身大学生による学生グループの組織化、学生ネットワークの拡大 (1) 県ゆかりの方の講演会等の開催を通して学生を組織化 (2) 組織化された学生グループのキックオフイベントを開催 など															
[受益者] —						[想定される受益者数] —									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									

## 関西の学生グループによる福井応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	—											0 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,609						1,609							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分			30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点								
当初予算額の推移					1,609									
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績							学生ネットワークの強化・組織化に係る予算のため、目標の設定にそぐわない。 事業実施においては、関係部局と連携し情報発信の強化やUIターン促進に努める。						
活動指標	(目標) 実績							学生ネットワークの強化・組織化に係る予算のため、目標の設定にそぐわない。 事業実施においては、関係部局と連携し情報発信の強化やUIターン促進に努める。						
他県の状況							関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 関西の学生グループによる福井応援事業（交流文化 部） （役割分担）  （学生による福井県の情報発信活動を支援） 学生記者による県内企業や県内での働き方の魅力を発信 学生記者の募集や情報発信に、学生グループのネットワークを活用					

## 京都事務所開設事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求上限	外	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 楽しみを広げる (創造力) ] 政 策 [ 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略 ]				関連する県の計画等		[ ]								
[事業目的]															
学生や訪日外国人の多い京都においてUIターンの促進や関係人口の拡大、インバウンド対策等を強化するため県事務所を開設する。															
[事業内容]															
<p>京都サテライトオフィスの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 本県の営業PR・・・観光情報の発信、物産品のPR、京都における「ええもん市」の開催、ふるさと納税の営業・PR、関西企業と県内企業のマッチング支援</li> <li>(2) UIターンの促進・・・福井県内で必要となる人材（観光サービス人材やインバウンド関連人材）のスカウト 関係する教育機関（大学・専門学校）等への情報提供・営業活動</li> <li>(3) 関係人口の増加・・・福井県内で地域活動を実施する学生への支援や県内情報の提供</li> <li>(4) インバウンド誘客・・・ホテルやゲストハウスにおける福井県観光情報の提供</li> </ul>															
[受益者] —						[想定される受益者数] —									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									

## 京都事務所開設事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求上限	外	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	—											0 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	7,850	3,925			3,925	地方創生推進交付金								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分	30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点										
当初予算額の推移			7,850											
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	(目標) 実績					京都での拠点運営にかかる経費であるため、目標の設定にそぐわない。 事業実施においては、関係部局と連携し、UIターン促進やインバウンド誘客拡大に努める。								
活動指標	(目標) 実績													
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

## 地域連携による政策イノベーション推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和			
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法		直営													
補助率		—													
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ ともに進める(総合力) ] 政策 [ 広域パートナーシップの強化 ]			関連する県の計画等		[ ]								
[事業目的]															
「自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク」の交流・連携を強め、地方発の新政策を提案・実行することによって、国の政策・制度を改革する。また、地方同士の新たな連携を生み出す仕組みづくりを行い、民間レベルでの多種多様な連携を創出する。															
[事業内容]															
福井県のほか11県で実施（青森、山形、石川、山梨、滋賀、奈良、鳥取、島根、高知、宮崎、鹿児島） （1）新たな政策づくりを推進するため、知事会合や政策イノベーション会合を開催 （2）各県の得意分野・特長を活かした全国規模での共同研究を推進 （3）地方同士の新たな連携を推進															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		知事同士のネットワークであり、市町との連携はない							
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた2年度の変更点									
・ 8月に鹿児島県において知事会合を開催し、国に対して「地方における人材(財)確保・育成対策に向けた提言」、「地域交通の維持・確保に向けた緊急提言」を実施 ・ 杉本知事がネットワークを代表し、国土交通政策審議会に委員として参加 ・ 災害時に応援県が被災県のふるさと納税の代行受付を行う相互応援体制を確立(R1.10.16～台風19号による被害を受けた長野県への災害支援寄付の受付を福井県において開始)						・ 第14回知事会合を東京において開催									

## 地域連携による政策イノベーション推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,821				1,821									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		307	307	1,821	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第14回知事会合を東京において開催予定</li> <li>・ 徹底現場主義に基づき、新しい共同プロジェクトを開始</li> </ul>									
2月現計予算額の推移		307	307											
決算額の推移		117												
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度は青森県において、令和元年度は鹿児島県において知事会合を開催（福井県においては平成28年度に開催）</li> </ul>													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	政策提案等の全国波及や 国の制度として実現	(1) 1	(1) 1	(1)	(1)	(1)	毎年度1件							
活動指標	新たな事業の立案	(2) 2	(2) 2	(2)	(2)	(2)	毎年度2件							
他県の状況	福井県のほか11県で実施（青森、山形、石川、山梨、滋賀、奈良、鳥取、島根、高知、宮崎、鹿児島） ※令和元年度に長野県、三重県、熊本県が退会  設立当初は先進的な取組みであった知事同士によるネットワークだが、類似の取組みも出てきている。 【参考】 日本創生のための将来世代応援知事同盟（本県含め17県） 地方創生実現財政基盤強化知事連盟（10道県）※本県不参加					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						



## 「地方兼業」による高度専門人材誘致事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度 経過年数 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[ 楽しみを広げる(創造力) ]			関連する県の計画等		[ ]							
	政策	[ 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略 ]												
[事業目的]														
関係人口の拡大を目的として、都道府県レベルでは初めて「兼業・副業」に限定して募集した「未来戦略アドバイザー」について、長期ビジョンの広報戦略や庁内全体の業務に活用してノウハウを蓄積し、将来的に県全体に「地方兼業」という新しい働き方を広げ、「関係人口」拡大による地域課題の解決につなげる。														
[事業内容]														
(1) 未来戦略アドバイザー(1期メンバー)の活用 ・アドバイザーの知見や高いスキルを、長期ビジョンの広報戦略だけでなく、庁内のあらゆる業務に活用 (業務案) 長期ビジョン広報戦略：学生・若者・子育て世代向け広報戦略、「FUKUI未来トーク」の開催、小中学生向け出前講座の内容充実 など 他部局での業務：県のブランド戦略、UIターン増、いちほまれの販売戦略、広報物制作へのアドバイスなど														
(2) 未来戦略アドバイザー(2期メンバー)の募集 ・1期メンバー以外にも、各部各課からニーズ調査をした上で必要な人材を確保し、活用														
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								

## 「地方兼業」による高度専門人材誘致事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											0 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,841						4,841							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分			30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点								
当初予算額の推移					4,841									
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	未来戦略アドバイザーの アドバイスにより実現し た取組		(目標)		(4)	(4)	(4)	未来戦略アドバイザー1人あたり1件程度実現						
活動指標	未来戦略アドバイザーに よる県政策へのアドバイ ス件数		(目標)		(20)	(20)	(20)	未来戦略アドバイザーが、庁内の業務に対して自身のスキルを応用しアドバイスを実施 各アドバイザー3件程度						
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## 長期ビジョン策定・推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和			
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法		県営													
補助率		—													
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ ともに進める(総合力) ] 政策 [ 「チームふくい」の行政運営 ]			関連する県の計画等		[ ]								
[事業目的]															
<p>福井県長期ビジョンを県民とともに策定し、策定後はチームふくい一体となって将来像の実現に向けて行動するため、県民に広く周知するとともに、ビジョン実現に向けた県民活動を促進する。また、長期ビジョンおよびふくい創生・人口減少対策戦略に基づいて実施する事業の進捗管理、効果検証を行う。</p>															
[事業内容]															
<p>○長期ビジョン策定後のフォローアップ                      (1) 長期ビジョン推進懇話会の開催                      (2) 県民アンケートによる県民意識調査の実施                      ○長期ビジョンの普及、県民アクションの促進                      (1) 長期ビジョン冊子の作成、配布                      (2) 長期ビジョン出前講座・ワークショップの実施                      (3) 有識者等によるセミナーの開催</p>															
[受益者] 県民全般						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		県内すべての市町で、市町別意見交換会を開催 (R1.8~9月)							
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
<p>○長期ビジョン推進懇話会の開催                      ○県民アンケートによる県民意識調査の実施                      ○地区別・世代別・分野別の意見交換会を開催                      ○連続セミナーの開催</p>						<p>策定したビジョンを県民に広く周知するため、冊子の作成に加え、県民アンケート、出前講座、ワークショップ、セミナー等を実施</p>									

## 長期ビジョン策定・推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	県営											経過年数		
補助率	—											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	7,468					7,468								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分	30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点										
当初予算額の推移		0	7,468	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョン策定のための経費を減額</li> <li>・普及、県民アクション促進のため、ワークショップやセミナー開催のための予算を追加</li> </ul>										
2月現計予算額の推移		8,219												
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	(目標) 実績													
活動指標	ワークショップの開催	(目標) 実績		(3)	(3)	(3)								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「地方兼業」による高度専門人材誘致事業 (役割分担)  ビジョンの内容を分かりやすく伝えるため、SNSの活用などにより 効果的な広報を図る。						

## SDGs推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度			
事業実施方法	直営											年			
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ ともに進める(総合力) ] 政 策 [ 「チームふくい」の行政運営 ]				関連する県の計画等		[ ]								
[事業目的]															
県民が主役となり、持続可能で多様性のある社会を実現するため、SDGsの理念を県民に普及するとともに、その達成に向けた行動を促進する。															
[事業内容]															
(1) SDGsセミナーの開催 SDGsの理念や具体的な取組方法などに関するセミナーの実施  (2) SDGsパートナーシップ会議の開催 自治体・企業・団体に構成する会議体を構築し、活動事例の共有や優れた取組の表彰等を実施  (3) 県および民間の取組の広報 SDGs達成に向けて県として特に推進する政策を定め、民間の取組と併せて広くPR															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									

## SDGs推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開 始 年 度	R2 年度 経過年数 0 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,058	529			529		地方創生支援事業費補助金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移														
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	SDGsパートナーシップ会議参加団体数 (目標) 実績			(30)	(60)	(100)	企業のSDGs達成に向けた行動を促進するため、会議に参加する企業数の拡大を図る。							
活動指標	県・民間団体の活動内容の広報 (目標) 実績			(1)	(1)	(1)	SDGsに関する県および民間団体の取組の認知度を高める							
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## ふくい政策デザイン推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ ともに進める(総合力) ] 政策 [ 「チームふくい」の行政運営 ]				関連する県の計画等		[ ]								
[事業目的]															
<p>デザインの活用領域を「産業デザイン」から「政策分野」まで広げ、担当部局と県内外のデザイナーをつなぎ、デザイナーのアイデアを政策に反映する仕組みを構築する。また、顧客視点で物事の本質を見極める「デザイン思考」の考え方を政策立案につなげるため、職員向け研修を実施する。</p>															
[事業内容]															
<p>(1) 「政策デザイン」相談ワークショップの実施 ・各部各課が抱える課題に対し、県内デザイナー等から、これまでとは異なる発想や新たなアイデアを得る相談会をワークショップ形式で実施</p> <p>(2) 「政策デザイン」プレゼンテーション&amp;セミナーの開催 ・県内デザイナー等が発想するアイデアを、自由に行政に提案するプレゼンテーションを開催 ・国内のトップクリエイター等を招聘し、デザインの視点の重要性を県内で広く発信、普及するセミナーを開催</p> <p>(3) 「政策デザイン」アドバイザーの設置 ・政策デザインの推進における総合的なディレクションやアドバイス業務を担う専門家を配置</p> <p>(4) 「政策デザイン」職員研修の実施 ・階層別研修において、デザイン思考の概要を説明する特別枠を設置 ・デザイン思考の考え方を習得するワークショップ型の研修を実施 ①基礎編(一般職員向け) ②基礎編(職場管理者向け) ③ステップアップ編</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									

## ふくい政策デザイン推進事業

事業主体	県			事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営				<input type="checkbox"/> 補助金		R2 年度 経過年数				
補助率	-				<input type="checkbox"/> 法定受託事務		0 年				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	5,529				5,529						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>											
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点						
当初予算額の推移				5,529							
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
前年度までの 主な増減理由											
[成果指標等の推移]											
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	「政策デザイン」相談を 経た事業のブラッシュ アップ件数 (目標) 実績			(10)	(10)	(10)	相談件数のうち約1/3程度について、仕様設定の段階から事業をブラッシュアップして 執行				
活動指標	「政策デザイン」相談件 数 (目標) 実績			(30)	(30)	(30)	県民参加型の政策で、これまでとは異なる発想や新たなアイデアを必要とする事業を 各部局3件程度				
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			



## 人口減少対策データ分析・調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度			
事業実施方法	県営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ ともに進める(総合力) ] 政策 [ 「チームふくい」の行政運営 ]				関連する県の計画等		[ ]								
[事業目的]															
人口データ分析のスキルをもつ専門家を公募し、人口減少の実態等の調査分析を行うとともに対策に活用する。															
[事業内容]															
(1) 自然減・社会減に関する本県特有の要因や構造的課題を調査分析 (2) 分析データや国内外の事例を踏まえ、解決策を提案															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									

## 人口減少対策データ分析・調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸 伸和				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度	
事業実施方法	県営											経過年数			0 年
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	4,815				4,815										
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点										
当初予算額の推移				4,815											
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	政策提案	(目標) 実績		(2)											
活動指標	アンケート調査等	(目標) 実績		(2)											
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

## 政策企画調整費

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ ともに進める(総合力) ] 政策 [ 「チームふくい」の行政運営 ]				関連する県の計画等		[ ]								
<p>[事業目的]</p> <p>政策アドバイザーなど各界の第一人者等からの知見の獲得や政策参事会などでの部局横断的な検討の推進等により、政策課題の解決や全国のモデルとなる先進施策をつくります。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 政策アドバイザーとの意見交換 ・本県にゆかりがあり、かつ幅広い見識と人脈を有する人物を政策アドバイザーとして委嘱し県勢の重要課題について助言を得る。</p> <p>(2) 政策会議 ・各分野における県内外の有識者・第一人者と、知事・部局長等が機動的に意見交換。提言を踏まえて新施策・事業を立案・実行</p> <p>(3) 政策参事会 ・部局横断型の政策参事会により、新施策・事業を立案・実行</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名    政策推進マネジメントシステム強化事業 (実績)  政策アドバイザーなど有識者との意見交換や部局横断の政策参事会における政策検討により、新政策の立案・事業化を促進					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
政策アドバイザーなど有識者との意見交換により優れた知見・提言の獲得に努めるとともに、政策参事会を中心に約101件の政策を立案															

## 政策企画調整費

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	—											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,960					1,960								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		4,420	4,420	4,420										
2月現計予算額の推移		4,420	2,345											
決算額の推移		2,161												
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	新たな政策提案 (目標) 実績	26	57				(令和元年度2月末時点)							
活動指標	政策参事会の回数 (目標) 実績	50	23				(令和元年度2月末時点)							
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## 総合推進調整事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課		課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	S58 年度 経過年数 38 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ ともに進める(総合力) ] 政 策 [ 「チームふくい」の行政運営 ]				関連する県の計画等		[ ]								
[事業目的]															
重要な施策や新たな課題に対応するため、調査研究等を行います。															
[事業内容]															
<p>(1) 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要な施策の構想段階の事業等の実現</li> <li>・ 政策議論に提案された新たな政策課題の具体的推進</li> </ul> <p>(2) 対 象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹的、広域的な施策の計画に関する調査</li> <li>・ 所管が多岐にわたる調査で、関係部が共同して実施することにより総合的な効果が期待される調査</li> <li>・ 重要な施策や政策議論に提案された新たな課題の具体的推進に関わり、実施することにより総合的な効果が期待される事業</li> </ul>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 77万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
28年度に文芸春秋に雑誌掲載委託						特になし									

## 総合推進調整事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	未来戦略課	課長名	藤丸 伸和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	S58 年度 経過年数 38 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	5,000					5,000								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		5,000	5,000	5,000										
2月現計予算額の推移		5,000	5,000											
決算額の推移		0	0											
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績						社会経済情勢の変化に伴う新たな政策課題に迅速に対応するための事業であり、成果指標を設定することは困難である。							
活動指標	調査実施件数 (目標) 実績	0	0											
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## JR小浜線利活用促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	内田 浩二			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金										経過年数	0 年		
補助率	県1/2、嶺南広域行政組合1/2													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ まちづくり ] 政策 [ 100年に一度のまちづくり ]				関連する県の計画等		ふくい観光『トライ!』ビジョン [ FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ 嶺南地域公共交通網形成計画 ]							
[事業目的]														
北陸新幹線敦賀開業を控え、嶺南地域全体の機運醸成が大きな課題となっている中、「御食国・和食の祭典in若狭路2019」の関連イベントとして実施した京都丹後鉄道「丹後くろまつ号」のJR小浜線乗入れ運行が嶺南地域のPRに寄与し、沿線住民の小浜線活用を考える契機となったことから、令和2年度以降も観光列車の乗入れを継続して実施することにより、北陸新幹線敦賀開業に向けた地域住民の機運醸成、および北近畿との広域観光推進を図る。														
[事業内容]														
観光列車のJR小浜線乗入れ運行に係る経費の補助 運行日数：2日間程度 定員：30人/コース 開催時期：嶺南地域において大規模イベント等が開催されている時期														
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客(延べ人数) 873万人								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 海湖と歴史の若狭路発信事業実行委員会 (実績)  実行委員会事業として、「丹後くろまつ号」の小浜線乗入れ運行およびレストランバスの運行を実施					市町との連携状況		・嶺南6市町が拠出した負担金で造成した「嶺南鉄道整備促進基金」を活用 ・市町によるおもてなし等の企画・実施						
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
定員210人(定員30人×7コース)のうち196名乗車(予約は乗車券販売から1週間で売り切れたが、直前でキャンセルが発生)						市町の企画段階からの参画								

## JR小浜線利活用促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	内田 浩二			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 0 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金													
補助率	県1/2、嶺南広域行政組合1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	3,000			(諸) 3,000	0	地域振興基金（若狭湾快速鉄道の建設基金）の繰入金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移				3,000										
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	乗車人数	(目標) 実績		(216)	(216)	(216)	定員240人（2日間×4コース）の9割乗車							
活動指標		(目標) 実績												
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						



## 嶺南振興プロジェクト枠予算

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室		課長名	土橋 彰		
事業主体	県				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[ まちづくり ]			関連する県の計画等			行財政改革アクションプラン [ 福井県高速交通開通アクション・プログラム ] FIRST291～北陸新幹線開業プラン～						
	政策	[ 100年に一度のまちづくり ]												
[事業目的]  嶺南地域は、3年後に迫った北陸新幹線福井・敦賀開業、さらには、大阪までの早期全線開業に向けて重要な時期にあり、嶺南振興局が果たす役割はこれまで以上に高まっている。嶺南地域としての様々な課題に総合的に対応するため、嶺南振興局として独自の予算を持つことにより、迅速な課題解決を図る。														
[事業内容]  (1) ハード枠 これまで安全安心を最優先にしてきており、今後は北陸新幹線開業に向け、対応できていなかった観光地周辺の道路補修や景観整備を嶺南振興局長の権限で執行  (2) 政策トライアル枠 嶺南振興局長の権限において試行できる枠予算で、成果を踏まえ、次年度の新規事業を立案														
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客(延べ人数) 873万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)		事業名			市町との連携状況			関係市町から意見を聞くなど、連携しながら事業を実施している。					
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
ハード枠については、観光地周辺の道路補修や景観整備を実施した。政策トライアル枠については、主に観光振興、農林水産業振興の事業を実施し、令和2年度当初予算において4件の新規事業を立案した。						ハード枠については、北陸新幹線開業効果を波及させるため、また地域の強い要望を踏まえ、予算額を増額。政策トライアル枠については、一定の調査が終了したため、予算額を減額。								

## 嶺南振興プロジェクト枠予算

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室	課長名	土橋 彰			
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開 始 年 度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			経過年数										
補助率	—			1 年										
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	160,000				160,000									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分	30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点										
当初予算額の推移			160,000	ハード枠については、北陸新幹線開業効果を波及させるため、また、地域の強い要望を踏まえ、予算額を増額。政策トライアル枠については、一定の調査が終了したため、予算額を減額。										
2月現計予算額の推移		100,000												
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	(目標) 実績													
活動指標	(目標) 実績													
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県 ハード枠 3.1億、ソフト枠0.15億 (補助あり)</li> <li>・鹿児島県 ハード枠 0.8億 (補助)、ソフト枠0.2億 (補助あり)</li> </ul>					関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 土木部枠県単 (役割分担)  土木部枠県単は安全安心を最優先し、事業を実施する。嶺南振興プロジェクト枠では、北陸新幹線開業に向け、対応できていなかった観光地周辺の道路補修や景観整備事業を実施する。							

## 「WAKASAリフレッシュエリア」関西圏大学生発イメージ発信強化事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室		課長名	土橋 彰			
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 0 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ まちづくり 政 策 [ 100年に一度のまちづくり ] ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光『トライ!』ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]								
<p>[事業目的]</p> <p>北陸新幹線福井敦賀開業、さらに大阪までの全線開業を見据える中、玄関口となる嶺南地域の関西における認知度はまだまだ低い。今後の関西戦略として、嶺南地域のイメージ確立のため、関西圏の大学生を起用し、主に関西圏の若者に向け、観光だけではない交流体験、移住定住までを見据えたWAKASAの情報発信強化を図る。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>関西圏における嶺南地域のイメージを確立させるため、関西圏の大学生と協働し、情報発信を強化                      事業内容 関西圏の大学生が嶺南地域を体験し、イメージビデオを作成                      イメージビデオを関西圏を中心にユーチューブ等で発信</p>															
[受益者] 観光客、県民							[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客（延べ人数） 873万人								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名 関西圏・福井ゆかりの関係者との意見交換事業 (実績)  政策トライアル枠において、福井にゆかりのある関西圏のマスコミ関係者等より意見を聴取し、当事業を立案した。					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									

## 「WAKASAリフレッシュエリア」関西圏大学生発イメージ発信強化事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室	課長名	土橋 彰		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 0 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,674	1,837			1,837	地方創生交付金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点								
当初予算額の推移				3,674									
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	制作ビデオ視聴回数 (目標) 実績				5万回	10万回	令和2年に映像を制作し、令和3年に公開 北陸新幹線福井・敦賀開業までの総視聴回数10万回を目標						
活動指標	嶺南地域への観光客入込 数(実人数) (目標) 実績	432	(449)	(466)	(483)	(500)	北陸新幹線福井・敦賀開業時における嶺南地域への入込数500万人を目標						
他県の状況	・京都府(山城振興局) 大学生に山城地域の魅力を発信する動画制作を委託					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

### 嶺南地域観光消費拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	内田 浩二		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業区分	■ 実行予算	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)		
事業実施方法	直営								□ 補助金	事業開始年度		経過年数	R4 年度
補助率	—								□ その他	0 年			
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野	〔 まちづくり 〕			関連する県の計画等		〔 FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ 〕						
	政策	〔 100年に一度のまちづくり 〕											
[事業目的]													
2019年の宿泊旅行調査によると、福井県の課題のひとつに現地での消費額が少ないことが挙げられている。2023年の北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、観光客が現地に來てからの周遊を促し、消費拡大を目指すため、観光周遊アプリの機能を拡充させる。また、受け入れる店舗側においても、新幹線福井・敦賀開業を意識し、それぞれの店舗で情報発信力を向上させるため、LINEを活用した集客向上セミナーを開催する。													
[事業内容]													
<p>(1) 観光客への周遊促進による消費拡大事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LINE嶺南観光アプリの機能の拡充（店舗の検索機能の追加・多言語化・情報発信機能）</li> <li>・登録店舗の情報・特典等を素早く検索するための検索機能</li> <li>・インバウンド需要に対応するための多言語機能</li> <li>・リピート率向上のための嶺南地域の観光情報の発信（月1回程度）</li> <li>・アプリの周知のためのチラシ・卓上広告・のぼり・ステッカーの製作</li> </ul> <p>(2) 地元店舗のPR促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEアプリを活用したPR講座</li> </ul>													
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客（延べ人数） 873万人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		市町と協力して登録店舗への選定・依頼 各市町の公共施設への協力					
[事業の評価]													
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点							

## 嶺南地域観光消費拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	内田 浩二					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 0 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	6,245	3,122			3,123	地方創生交付金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点											
当初予算額の推移				6,245												
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	友だち登録者数 (目標)			2,000	3,000	4,000	毎年1,000人ずつの登録者を増やす									
	実績	168	1,686													
活動指標	登録店舗数 (目標)			(250)	(310)	(370)	一年に60店舗ずつ増やす									
	実績	191	191													
他県の状況	・群馬県 毎週金曜日に観光情報やイベントなどの県政情報発信 H31年2月開始 友達登録者8,765人 (R2.3.5現在)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								

## 農産物の販路拡大支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	農業経営支援部	課長名	川上 哲治			
事業主体	民間事業者				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R1 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助													
補助率	県1/2													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ しごとづくり ] 政策 [ 農林水産業の力で福井をブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ 新ふくいの農業基本計画、 福井県高速交通開通アクション・プログラム ]							
[事業目的]														
嶺南地域の農産物等の販路拡大や知名度向上を図るため、県内事業者が行う県外へのアンテナショップや飲食店等の開設を支援する。														
[事業内容]														
県内事業者が行う県外へのアンテナショップや飲食店等の店舗整備、設備導入に対する支援を実施 事業期間 令和元年度～4年度 補助率 県1/2 補助上限額 300万円（店舗売上が年間1億円程度見込まれる場合、500万円）														
[受益者] アンテナショップ等への出荷生産者および出荷業者						[想定される受益者数] 出荷生産者 1,500人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		アンテナショップを、関西における若狭全域の共有拠点として位置付ける。その上で各市町にもアンテナショップを魅力発信の場として活用してもらう。（観光案内、イベントの開催など）						
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
公募の結果、1事業者を採択し、当該事業者に対し補助を実施。														

## 農産物の販路拡大支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	農業経営支援部	課長名	川上 哲治					
事業主体	民間事業者				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	県1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	5,000	2,500			2,500	地方創生交付金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点											
当初予算額の推移			0	5,000												
2月現計予算額の推移			5,000													
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	嶺南地域の園芸産出額 (目標) 実績		(15億円)	(16.2億円)	(17.5億円)	(18.7億円)	他事業との連携により、令和2年度から令和5年度にかけ、嶺南地域の園芸産出額30%向上を目標									
活動指標	アンテナショップ等の開設件数 (目標) 実績		(1)	(1)			各年度1事業者以上を支援									
他県の状況	<p>【岡山県美作市】箕面市にて、アンテナショップを展開。地産外商に加え、交流室・実習室を備え、美作地域の情報発信も行っている。</p> <p>【(株)類設計室】茨木市にて、アンテナショップを展開。奈良県、三重県の農家や漁業者から直送便で農産物を配送。</p> <p>【徳島県】大阪市にて、農産品(なるとすだち)、特産品(徳島ラーメン)、観光グッズ(阿波踊りグッズ)、県内市町特産品など、県域アンテナショップとして事業展開。</p> <p>【北海道】豊中市で、北海道の旬の美味しさを、1年を通してお届けするというコンセプトの下、アンテナショップを展開。</p>					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								